



事業実施内容

本事業では小規模農家が農産物を農業協同組合(農協)に納品した際に即座に支払いを受け取ることを可能にすることを目的としています。これにより、農家はより迅速かつ確実に収入を得ることができ、生活水準の向上や経済的安定に貢献します。また、農協や他の農業生産者団体を通じて、農産物と農業資材の管理を一元化することで、生産者と協同組合の双方にとって効率化と透明性の向上を目指しています。



事業成果

農協登録と農家の拡大

本事業期間中に新たに2つの農協を登録し、合計 3,366人の農家をシステムに登録することができました。また、総額 887,990ケニアシリングの支払いをデジタル化し、現場での利用実績を確認しました。この成果は、デジタル化の有用性と導入の可能性を示す重要なステップとなりました。

酪農セクターへの展開機会の創出

Meru Central Dairy Unionとのミーティングを通じて、同ユニオン傘下の 130農協のうち70農協に対するデジタル化および支払いの導入を進めたいという合意を得ることができました。この結果、2025年には酪農セクターにさらに注力する方針を定め、Pilotプロジェクトの実施を準備中です。

今後の事業展開

- 酪農協同組合のさらなるオンボーディング 次年度には新たに50の酪農協同組合を対象にサービスを導入し、約50,000人の農家を新たに登録することを目指します。これにより、酪農セクターへのデジタル化を大きく前進させます。
- 支払い以外の付加価値サービスの提供 現在構築中の基盤を活かし、支払いサービスだけでなく、以下の付加価値サービスを展開予定です:
 - 農業用資材のローン提供
 - デバイスファイナンス(農業機器やデジタルデバイスの分割払いサービス)
 - 農業保険の提供 これらのサービスにより、農家の生産性向上とリスク軽減を図ります。
- 新たな地域への拡大 現在サービスを提供しているMeruおよびKiambu以外の郡への展開を進め、ケニア国内でのさらなる事業拡大を図ります。
- プロダクトの改善 サービスの拡大に対応するため、プロダクトのスケールビリティとセキュリティを強化します。これにより、安定したサービス提供と信頼性の向上を実現します。